

並列プログラミング入門 MPI版(2008年12月1日版とそれ以前の版)の重要な誤り

2012年6月1日

「並列プログラミング入門 MPI版」(2008年12月1日版とそれ以前の版)の重要な誤りを以下に示します。また、本資料の内容およびその他の修正を反映した版を、「並列プログラミング入門 MPI版」(2012年6月1日版)として、本サイト(<http://acce.riken.jp/HPC/training.html>)に添付します。

■(重要) P3-42の上から5行目と、A-70ページの「注意」の、「原則として、作成した新しいデータ型の最初のブロックの前と最後のブロックの後にブラケットを入れることはできません。」は誤りです。これに関しては、説明が長くなるので、「並列プログラミング入門 MPI版」(2012年6月1日版)の3-5-2節を参照して下さい。

■(重要)「付録」の集団通信ルーチン(MPI_BCASTからMPI_ALLTOALLWまでの10個のルーチン)の「**注意**」内の説明で、以下の下線部を追加して下さい(以下はMPI_BCASTの例です)。

「この条件を満足していれば、各プロセスでcount, datatypeは異なっていても構いません(ただしデータ型(INTEGER, REALなど)は一致する必要があります)。」